

第1回教育課程編成委員会 議事録

日時：平成28年11月15日（火）

午後2時～午後3時

場所：5階カンファレンスルーム

出席者：(学外)

- A 吉村 喜代子（山口県看護協会）
- B 楫野 由美子（片倉病院）
- C 河本 由美（山口県介護福祉士会）
- D 山根 昭昶（特別養護老人ホームやすらぎ苑）

(学内)

- E 落合 教子（校長）
- F 野崎 美紀（参与）
- G 日當 泰浩（事務長）
- H 有本 徹哉（教務課長）
- I 吉武 理恵（事務課長）
- J 田中 恵美子（看護学科教務部長）
- K 河村 晶子（看護学科実習調整部長）
- L 佐藤 正昭（社会福祉士通信課程主任）
- M 福本 智子（書記）

委員会次第

1. 校長挨拶
2. 委員紹介
3. 平成28年度教育課程編成に基づく運営状況について（中間報告）
 - (1) 介護福祉学科
 - (2) 看護学科
4. その他

1. 校長挨拶

2月と6月に学校関係評価委員会と教育課程編成委員会を同日に開催しておりましたが、カリキュラム運営が新年度となり間もないことから今年度は6月に学校関係評価委員会のみを開催し、本日教育課程編成委員会を開催することとなりました。ご意見をいただき、後半に繋げていきたいと思っております。

協議内容

【介護福祉学科】

有本教務課長

1. 卒業後教育について（資料3参照）

これまでは、卒業6か月後のアンケート後に指導ができていなかったが、今回卒業後教育を開催することで施設側の助言を直接反映できた。また、様々な意見が上がった。

8月の開催時には、特に人間関係において、職員との付き合い方やストレスとの向き合い方などについて多くの学生が悩んでいたが、クラスメイトと話し合うことで皆同じ気持ちなんだと共有できたようである。開催後、現在の1・2年生にも今回のアンケート結果を見せ、フィードバックした。

技術は、少人数制で実施しているがまだ行き届かないこともある。今後は看護学科が実施している視覚教材（DVD・IPAD・スマホ）を用いた取り組みも参考にしたい。また健康管理など、授業の中でしっかり押さえておきたい。

A委員：事前・事後アンケートや卒後教育を開催していることは素晴らしい。そして、在校生にも機会をつくってフィードバックしていることもよい。就職後コミュニケーションとしての調整力が重要となるが、学校ではどのように教えているのか？

有本教務課長：コミュニケーションの授業はある。他の授業でも多職種連携として、一緒に働く他の職種について学ぶこともしているが、まずは知ることから始めており調整力とまではいかない。

校長：本年度、学生自治会を設立させた。今後看護学科と介護福祉学科が連携し互いに意見を出し合い、調整力が高められるような活動になることを期待している。

2. 地域貢献について

例年地域貢献として清掃活動を行ってきたが、専門性を活かした内容の地域貢献ができていなかった。そこで、今回11月4日（金）に介護福祉学科1年生が市内の施設に訪問し活動を行った。「生活支援技術Ⅰ」と「生活活動論」の2つの授業を結びつけて行い、授業で巾着を作製し参加者に贈呈するなどして好評を得た。

3. 介護実習評価票について（資料4参照）

以前までは施設評価が10割であったが、今年度からは施設評価が8割、担当教員の評価を2割とした。そして、各項目評価が極端に低い場合などには学内で協議し、実習担当者が施設指導者責任者にも確認し総合評価を決めるようにした。

C委員：施設によって評価のばらつきがあるので、学校側の評価を加えられたことはとてもよい。

【看護学科】

田中教務部長

1. 講義担当について

本年度より、病態論の授業を非常勤講師だけではなく常勤教員も担当することとした。そのことにより実習や試験などの調整がスムーズになり、学習効果も上がった。学生からも質問しやすい、解りやすいとの評価を受けている。

2. 視覚教材（DVD・IPAD・スマホ）を用いた取り組み

ベッドメイキングの一連の流れをIPADやスマホで閲覧できるように教員が作製。

他の技術も作製してほしい、自分達でも作製したいとの声上がり、学生の自主作製を含め、現在までに4項目を作製。学生の学習意欲にも繋がっている。今後「解剖学」の項目にも取り組む予定。

B委員：教材を学生が自主作製したことは、とても素晴らしい。

①学生作製の際には、時間がどのくらいかかっているか。

②スマホで誰でも視聴できるのか。

田中教務部長

- ①：教員が作製している工程に当てこむだけなので、1・2時間で作製可。
- ②：在校生にはパスワードを知らせ、教員と学生が作製したものを閲覧できる。

3. 国家試験対策について

専門業者との連携や卒業生に協力してもらい、学生の弱いところを重点的におさえ、国家試験に取り組んでいきたい。

C委員：先輩である卒業生から後輩への取り組みはとてもよいことである。

河村実習調整部長

4. 実習先への交通手段の変更について

8 回行う領域実習において、今までは山リハと周南リハにバスをだし、他の病院は公共手段か自家用車を利用していた。宇部市内に実習先は、宇部線の遅延が多いため、支障をきたすことが数回あった。そこで現2年生の領域実習（12月～）からは、バスの行程を変更し宇部方面にバスをだし、周南リハは山陽本線とタクシーの配車で行うこととした。

5. 実習先の追加について

1 病院に配属するが学生数が多く細やかな指導が行き届きにくい。平成29年度より宇部興産病院での実習を追加。

その他

A委員：Q県内の就職定着率は？

校長：大島看護に続いて本校であった。

A委員：Q実習先への就職は？

河村実習調整部長：これまでに就職した学生もいるが実習中にプラス面だけでなく、マイナス面も見たことにより実習先への就職を望まない学生がいるのも現状。しっかり学生と相談しながら就職に繋げていきたい。

事務長

それでは、次回は2月に学校関係者評価委員会と教育課程編成委員会を同日開催の予定です。事前に日程調整をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

以上をもちまして、平成28年度教育課程編成委員会を閉会いたします。